

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 8 回 定例委員会
日 時	令和元年8月23日 自 15時05分 至 17時13分
場 所	本庁舎5階第2応接室
出席委員	教 育 長 五十嵐 充 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 植 木 忠 夫 委 員 齋 藤 智 子 委 員 岡 田 秀 樹
欠 席 委 員	
会議録署名委員	佐 藤 郁 子 委員
会議録作成職員	総務企画課主任主事 武 曾 真 弓
事務局職員	教 育 部 長 瀬 能 仁 教 育 部 次 長 山 口 朋 史 教 育 部 参 事 丹 野 靖 彦 教 育 部 参 事 前 田 辰 夫 総 務 企 画 課 長 齋 藤 貴 志 学 校 教 育 課 長 阿 部 秀 明 生 涯 学 習 課 長 白 川 典 之 第 1 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 杉 本 貴 浩 第 2 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 宮 嶋 和 久 美 術 博 物 館 副 館 長 長 谷 川 文 作 教 育 部 主 査 千 木 良 訓 世 総 務 企 画 課 主 査 前 田 亜 矢 子 学 校 教 育 課 学 務 係 長 中 山 智 淳 総 務 企 画 課 主 事 田 中 真 奈 学 校 教 育 課 主 事 千 葉 大 輔 学 校 教 育 課 主 事 小 橋 洋 太
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（五十嵐教育長）・・・15時05分
2 会議録署名委員の指名（佐藤郁子委員）
3 会議録の承認
（五十嵐教育長） 第7回定例教育委員会（令和元年7月26日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（五十嵐教育長） 7月26日開催の第7回定例教育委員会以降の事業などについて報告いたします。
7月27日、28日の2日間、夏のイベントとして定着したアートフェスティバル
が出光カルチャーパーク、サンガーデン、中央図書館を会場に開催されました。入場
者の延人数は1万3,400人であり、同時に開催された美術博物館祭と合わせると
1万5,000人を超える方が来場されました。多くの皆さんに、様々な催し物を楽
しんでいただけたのではないかと考えております。
7月30日から8月4日までの日程で第14回全国高等学校選抜アイスホッケー大
会が開催されました。30日の開会式には各委員も出席され、選手に激励をいただき
ました。大会は帯広の白樺学園が優勝し、残念ながら苫小牧勢は今年もベスト4に進

めませんでした。今後の奮起を期待したいと思います。

8月3日には、第64回とまこまい港まつり恒例の市民おどりが開催され、各委員には一条通で踊りの審査をしていただきました。暑い中お疲れ様でした。私は北海道教育委員会の依頼で、札幌北高等学校で教員採用試験の面接官を務めてまいりました。20分程度の面接時間で受験者の全てを理解するのは難しいことですが、面接中のしぐさ、表情、質問に対する受け応えの内容や態度などから、どのような先生になるのかを感じ取ることになります。受験申込者が減少している中、教員の人材確保は大変な時代となっていることを実感してきました。

8月15日には、平和祈念式典に出席いたしました。年々の規模の縮小に寂しい思いがいたしますが、広島市を訪問した中学生が行う平和の誓いにはいつも感動させられます。今年は平和を守り続ける決意を述べていました。5人の中学生には、今後とも各学校のリーダーとして活躍されることを期待します。

8月22日には、令和元年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会が函館市で開催され、各委員にご出席いただきました。都市の教育委員会でも人口規模によっては議論がかみ合わないと感じることもあると思っておりますが、今年は「学校段階間の円滑な接続に向けて」を分散会のテーマとして、各市の様々な取組を直接お聞きすることができ、参考になりました。また、ネットワークづくりにも重要な機会であると考えておりますので、今後とも委員の皆様には是非ご参加いただきますようお願いいたします。

最後に、令和2年度から使用する教科用図書に関して、8月2日に調査研究小委員会の報告を受け、9日及び16日の2回勉強会を開催するなど、長時間にわたり議論してきた訳でございますが、本日の会議において教科用図書の採択についてお諮りいたしますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。

(一同「なし」の声)

5 議 案
第1号 令和2年度使用 教科用図書の採択について
(学校教育課長) はじめに、令和2年度から使用する小学校用教科用図書の採択についてでございます。
本件につきましては、5月の定例教育委員会で採択要領と調査研究委員会要綱及び採択に係る文書の公表方法等について決定していただいた後、7月5日に調査研究委員の委嘱をし、調査研究を開始しております。そして、8月2日には調査研究委員長より教育委員の皆様へ調査研究結果の報告をしております。
採択に当たっては、基準をより明確にするために、本市の現状、児童生徒の状況、本市の道徳教育の現状を踏まえた本市の視点を示しており、その上で、調査研究項目としてこれまでと同様に「取扱内容」、「内容の構成・配列、分量等」、「使用上の配慮等」、「その他」という4つの観点から報告書も取りまとめられております。
教育委員の皆様には、8月9日及び16日の2回の勉強会において、使用する子供たちにとって学びやすいか、教員にとって教えやすいか、その他様々な角度からご意見をいただいておりますが、本日は小学校用教科用図書13教科について改めてご審議いただき、最終的に各教科それぞれ1者を採択していただくこととなります。
なお、議案審議の前に、これまでの勉強会での議論の振り返りとして、私から更に説明を続けさせていただきますが、これまでの議論の経過から、教科ごとに本日の採択に向けた候補が一定程度絞られているものと考えております。
まず、「国語」ですが、単元の中心となる学習内容について焦点化がされている点、他の単元及び日常生活との関連が示されており教科横断的な指導に活用できる点、関連図書の紹介などの読書指導を行うための工夫といった点から、光村図書出版の1者

<p>を選定しております。</p>
<p>「書写」につきましては、基本的な学習過程として課題解決に向けて段階が示されている点、考えさせることで主体的な学習につなげられるような工夫、自己評価欄を活用した振り返りの工夫、国語の教科用図書との関連性といった点から、光村図書出版の1者を選定しております。</p>
<p>続きまして「社会」ですが、学習に対する見通しや振り返りの工夫、身近な地域についての題材の扱い、学んだことをどう生かすかという点から、東京書籍と教育出版の2者を現時点で選定しております。</p>
<p>「地図」につきましては、学びの初めの段階における見やすさや扱いやすさといった点から、帝国書院の1者を選定しております。</p>
<p>続きまして「算数」ですが、日常生活への活用や探究活動への展開の視点、学習の見通しや振り返りへの工夫、学習のスタート段階や中学校への繋がりなど学習段階に応じた活用のしやすさといった点から、東京書籍、学校図書及び新興出版社啓林館の3者を選定しております。</p>
<p>続きまして「理科」ですが、身近な地域の題材を取り上げるなど学習意欲を高める工夫、学習の進め方や指導の流れについてのわかりやすさ、実験から考察への展開の工夫といった点から、東京書籍、大日本図書、教育出版の3者を選定しております。</p>
<p>続きまして「生活」ですが、学ぶ目的の明確化、更には気づきや学習意欲を高める工夫、見やすさ、写真などを利用してイメージしやすくする工夫といった点から、学校図書及び新興出版社啓林館の2者を選定しております。</p>
<p>続きまして「音楽」ですが、資料の活用による学習意欲を高める工夫、教科横断的な視点、音楽の基礎的な要素の扱いや振り返りなどの指導上の扱いやすさといった点から教育出版の1者を選定しております。</p>
<p>続きまして「図画工作」ですが、開隆堂出版と日本文教出版の2者がそのまま候補となっております。こちらは、教科横断的な視点による授業づくりへの活用、学習の目当てを示し主体的な学びにつなげるための工夫といった視点に加え、日常生活の中</p>

<p>で造形や鑑賞という分野にどのように広げられるか、子供が使ったことのない素材を</p>
<p>どのように扱っているかなども選定に当たってののポイントとなっており、本日改めて</p>
<p>両者についてご意見をいただきたいと思います。</p>
<p>続きまして「家庭」ですが、基礎的基本的な内容を確実に習得できる工夫と指導の</p>
<p>しやすさ、学習意欲を高める工夫といった点から東京書籍の1者を選定しております。</p>
<p>続きまして「保健」ですが、不安や悩みへの対処とその後の学習の広がりへの工夫、</p>
<p>学習の振り返りとその後の主体的な学びへつなげる指導のしやすさといった点から、</p>
<p>東京書籍と学研教育みらいの2者を選定しております。</p>
<p>続きまして「英語」ですが、異文化に関する情報の扱いや教科横断的な視点、小学</p>
<p>校段階の英語の振り返りのための工夫、コミュニケーション能力の向上と発話へとつ</p>
<p>なげる題材の扱いといった点から東京書籍と開隆堂出版の2者を選定しております。</p>
<p>続きまして「道徳」ですが、児童自ら考えを深めるための指導あるいは課題意識を</p>
<p>培う指導のしやすさ、地域との積極的な関わりや地域に開かれているかの視点、向上</p>
<p>心や自己肯定感を醸成できるような内容、題材といった点から、東京書籍の1者を選</p>
<p>定しております。</p>
<p>以上、ここまで勉強会での議論や意見交換におけるポイントと、絞り込みの結果、</p>
<p>現時点で選定している出版社について説明させていただきました。</p>
<p>絞り込みがされた出版社が中心になろうかと思いますが、委員の皆様からご意見を</p>
<p>いただき、教科ごとに1者を採択していただきたいと思います。ご審議賜りますよう、</p>
<p>よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>(五十嵐教育長) それでは、まず小学校用教科用図書「国語」の審議に入ります。</p>
<p>事務局から説明がありましたとおり、「国語」については、勉強会で意見交換した</p>
<p>結果、光村図書出版の1者が候補となっています。</p>
<p>この1者を中心に、各委員からご意見をいただき決定したいと思います。最終的に</p>
<p>別の会社がいいということであれば、それでもかまいませんので、ご意見を願いい</p>
<p>たします。</p>

<p>(佐藤委員) まず、今回の勉強会で中心といたしました、学びやすいか、また現場</p>
<p>の方の声として教えやすいかというところの2点に焦点を合わせて勉強いたしました。</p>
<p>今回、光村図書出版の中で、各題材で使われているジャンルに関する図書を勧めて</p>
<p>いるというところが、読書もそうですが、読解力や言語感覚を養うというところでは</p>
<p>よろしいのではないかと思いますので、私も光村図書出版を選定いたしました。</p>
<p>(植木委員) 今度の教科書採択は、これから恐らく10年くらい続くであろう学習</p>
<p>指導要領に沿う形のものを選ばなければならないということが大前提で、その根底に</p>
<p>あるのは、今までの学習指導要領でもずっと謳われてきた、生きる力の育成というこ</p>
<p>とがその根本にあるというふうに考えていました。</p>
<p>そして、新しく学ぶ教科が増えたということや、子供たちにとって何ができるよう</p>
<p>になるのが大事なことなのかということ踏まえた上で、これからの学習の中で子供</p>
<p>たちはどのように学んでいくのかということが大変重要で、それはなぜかという、</p>
<p>恐らくこれからの5年、10年は全く予測のつかない社会ができてくる、今までの常</p>
<p>識が通用しないということですので、そういう時代に生きていかなければならない子</p>
<p>供たちにとっては、主体的に学んでいくことが大事ですし、あるいは友達の意見を取</p>
<p>り入れたり、友達の意見を聞きながら自分の考えを変えていったり、より深い学びに</p>
<p>つなげていったりというようなことが大変重要ですので、そういう意味では、各出版</p>
<p>社それぞれ甲乙つけがたいのですが、私も佐藤委員と同じように光村図書出版がいい</p>
<p>のではないかと思います。</p>
<p>(齋藤委員) 私も両委員と全く同じ意見です。光村図書出版がいいのではないかな</p>
<p>と思っております。</p>
<p>各委員の言葉に少し付け加えさせていただきますと、現在も光村図書出版を使って</p>
<p>おりまして、教科書を選ぶ時に、もちろん私たちは子供たちにどういう教科書を与え、</p>
<p>使ってほしいか、これからの時代を生きる子供たちにどのような子供になってほしい</p>
<p>かということを考えながら選ぶのですが、一方で、実際に教える先生方が教えやすく、</p>
<p>使いやすく、先生たちからの評価も高い教科書を選ぶことも、選択する上で考えなく</p>

てはならない部分かなと思っています。その点で、現在も使っております光村図書出版の国語の教科書は学校現場からも評価が高いということで、この出版社の教科書を選定したいなと思います。

(岡田委員) 私も委員の皆さんと同じように光村図書出版がいいと考えております。皆さんと同じなのですが、本市の国語教育の中でも読書を重視するということが謳われていまして、光村図書出版は本や読書について子供たちに関心を持たせていこうというところも見られますので、私としても光村図書出版ということでよろしいのではないかと思います。

(五十嵐教育長) わかりました。それでは、最後に私ですが、私も皆さんとほぼ同様の意見ということになりますけれども、光村図書出版がいいのではないかというふうに思っております。

皆さんから一通りご意見をお聞きしましたが、付け加えたい点などございませんでしょうか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) それでは、皆さん光村図書出版ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、小学校教科用図書の「国語」は、光村図書出版に決定いたします。

続きまして、小学校用教科用図書の「書写」の審議に入ります。

先ほど事務局から説明がありましたとおり、「書写」については、勉強会での意見交換の結果、光村図書出版の1者が候補となっています。

<p>先ほどと同様、この1者を中心に、各委員からご意見をいただいて決定したいと思います。最終的に別の会社がいいということであればそれでもかまいませんので、ご意見をお願いいたします。</p>
<p>(佐藤委員) 実際に教えていらっしゃる先生のご意見を伺いまして、同じ出版社である方が指導しやすいという、そこが一番の決定の理由でございます。</p>
<p>(五十嵐教育長) では、光村図書出版ということですね。それでは、植木委員お願いいたします。</p>
<p>(植木委員) 私も全く同じです。たしか前回の選定の際に、同じ教科書にした方がいいというようなことが話し合われたと記憶していますが、同じような出版社の教科書を使った指導が子供たちにとってふさわしいということで、私も光村図書出版にしたいと思います。</p>
<p>(五十嵐教育長) 同じ教科書というのは、国語と書写が同じという意味ですね。</p>
<p>(植木委員) はい、そうです。国語と書写という意味です。</p>
<p>(五十嵐教育長) わかりました。それでは、齋藤委員お願いします。</p>
<p>(齋藤委員) 私も同じです。あえて国語と書写を違う出版社にする必要性がないのではないかと思います。光村図書出版を選定したいと思います。</p>
<p>(岡田委員) 私も他の委員の皆さんと同じように、光村図書出版でよろしいと思います。</p>
<p>(五十嵐教育長) 書写について、私も皆さんと同じ意見で、光村図書出版でよろしいかと思っております。他に付け加える意見等、皆さんの方からありませんか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(五十嵐教育長) それでは、皆さん光村図書出版ということですので、よろしいでしょうか。</p>

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、小学校教科用図書の「書写」は光村図書出版に決定いたします。

次に、小学校用教科用図書の「社会」の審議に入ります。

「社会」については、勉強会での意見交換の結果、東京書籍と教育出版の2者が候補となっています。

この2者を中心に、各委員からご意見をいただき決定したいと思います。別の会社がいいということであれば、それでもかまいませんので、ご意見をお願いいたします。

(佐藤委員) 東京書籍も教育出版もそれぞれ学びやすいかというところ、それから教えやすいかというところは非常に工夫をなさっていて、誠に悩んだところなのですが、その授業の振り返りを充実させ、これからどのような勉強をしていこうかというところも工夫をされているのですが、本市の授業のやり方の一つとしては、学習の課題や課題を明確にするというところに一つ重点を置いて考えなければいけないのではないかということで、勉強させていただきました。

それで、ページの冒頭のところに、「この時間の問い」ということで学習課題が明確になっている、あるいは次につながるきっかけになるということ、それから単元ごとに振り返るページを付けていて、両方の出版社で工夫して付けているんですが、どちらを重点的にというと、その学習課題がはっきりしていて、学ぶ側、または教える側もはっきりわかりやすいのではないかということで、私は教育出版を選ばせていただきました。

(植木委員) 冒頭でお話ししましたがけれども、なかなか甲乙つけがたい中身でして、大変悩んだのですが、特に東京書籍は他の出版社と異なり分冊になっていて、工夫がされています。ここら辺も大変配慮されているなというふうに思ったのですが、私が最終的に決めたのは、教育出版がその題材ごとに友達同士で話し合うということを重視した構成になっている点を決め手としました。先ほどお話ししたように、自分の考

えを友達と共に深めていくという、ここら辺がこれからの教育に必要な学ばせ方かな
と思いましたので、私は教育出版にしたいと思います。

(齋藤委員) 勉強会の中で、どの教科書も大変素晴らしくて、各委員と悩みながら
この東京書籍と教育出版の2者に絞ったのですが、2つとも甲乙つけがたく、どちら
も魅力的で、東京書籍は特に6年生の教科書を歴史編と政治・国際編に分けて、中学
校へのつながりも考慮されているという点で、非常に新しいアイデアにひかれました。
ただ、私個人はそのような新しい分冊化にひかれたのですが、現場の先生の立場で考
えた時に、小学生の段階で教科書を分けるメリットが本当にあるのかどうかというの
がちょっと疑問に感じまして。というのも、その授業を進めていく中で、例えば政
治・国際編の勉強をしていく中で、歴史の中の政治の分野のことを少し見直して考え
てみようといった時に、分冊化してしまうと、また別な教科書を持ってこなくては
いけないという問題が出てきてしまうのではないかという懸念がありまして。それでし
たら、小学生のうちはまだ1冊で勉強する方がいいのかなと思ひまして、内部的には
どちらも充実しているとは思いますが、私は教育出版を選ばせていただきたいと思
います。

(岡田委員) 私も教育出版を選択させていただきました。主体的な対話的な深い学
びに資する内容となっているかどうかにも私も着目したのですが、3年生から6年生ま
でそれぞれ学習問題を設定して、自ら調べ、学習問題を話し合い、考えを広めていく
学習活動を身につける内容となっている点、内容の構成や配列についても、地域の生
産、販売、自然災害、気候など、特色のある地域に住む人々の生活の事例、震災復興
の関係といったことで、有珠山あるいは伊達の事例を取り上げるなどして、地域の取
り上げ方もありますので、教材によって学習意義を高めていくことも可能ではないか
と思いますので、教育出版ということで選択させていただきました。

(五十嵐教育長) ありがとうございます。東京書籍が分冊ということなのですが、
この分冊のメリットは生かされているのかというところが、かえって子供たちも学び
やすいのか学びづらいのかというところが、なかなか判断が難しいというところもあ

り、分冊が必ずしもメリットになっていないのではという意見を私としては持っておりましたので、教育出版ということで考えております。

それでは、皆さん教育出版ということですが、追加意見等はございますか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) それでは、皆さん教育出版ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、小学校教科用図書の「社会」は、教育出版に決定いたします。

次に、小学校用教科用図書の「地図」の審議に入ります。

「地図」については、勉強会での意見交換の結果、帝国書院の1者が候補となっています。

この1者を中心に、各委員からご意見をいただき決定したいと思いますが、別の会社がいいということであれば、それでもかまいませんので、ご意見をお願いいたします。

(佐藤委員) これも利用の仕方によって随分変わるのではないかと思います、非常に情報が多い地図、たくさん色々なことが書いてあるところと、それから地図帳の使い方等について、実際に活用して防災マップをつくったり、地図の記号を理解したりということも、もちろんお勉強の一つなのですが、地図がとてもシンプルになっているところ、対話の学びにつながるというところ、それから地名を探しやすいというところが、比べてみますと帝国書院の方が小学生としては使いやすいのではないかと思います、帝国書院の方を選択させていただきました。

(植木委員) 私も同じなのですが、今の子供たちに欠けている資質として、データを利用する、読み取る、分析するという辺りがとても大切なことですので、そのような意味で帝国書院の地図帳がいいのではないかと思います。

(齋藤委員) 私も帝国書院を選びました。東京書籍の地図も、大人目から見ましたら大変魅力的で、というのも情報がたくさん載っておりますので、地図が大好きな子にとってはきっと宝物になる地図帳なのではないかと思います。

ただ、小学生で初めてこの地図を手にする段階で、あまり情報をたくさん見せてしまうと、地図に抵抗を持つ、先ほど植木委員がおっしゃっていたように、地図から情報を得るという作業をすることに抵抗感を示す子供が出てくるのではないかという懸念がありまして、それでしたら、シンプルで誰が見てもどこに何があるのか、情報が出ている、見やすい地図の方が小学生にはいいのではないかと思います。帝国書院を選びました。

(岡田委員) 私も他の委員と同じく帝国書院がよろしいのではないかと考えます。

(五十嵐教育長) ありがとうございます。今、齋藤委員からもありましたが、情報が多いというのが子供たちの学びに合っているのかどうかというところがあります。シンプルだということが入りやすい、使いやすい地図になるという意見を私も持っておりますので、帝国書院ということにしたいと思っております。

それでは、皆さん帝国書院ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、小学校教科用図書の「地図」は、帝国書院に決定いたします。

続きまして、小学校教科用図書の「算数」の審議に入ります。

「算数」については、勉強会での意見交換の結果、東京書籍、学校図書、新興出版社啓林館の3者が候補となっています。

<p>この3者を中心に、各委員からご意見をいただき決定したいと思います。別の会社がいいということであれば、それでもかまいませんので、ご意見をお願いいたします。</p>
<p>(佐藤委員) 各出版社の工夫がありまして、こちらも悩みながら、いろいろ勉強させていただいたのですが、わくわくするような算数を教える方法など、色々と書かれているのですが、小学生の勉強の中でノートを書くという習慣付けにつながっていくということで、A4判としてノートの機能を備えているというところが一つ重要なことにつながるのではないかと思います。勉強して書いていく、今まで各先生の工夫はもちろんあるのだと思いますが、教科書の中で勉強しながらノートを書く習慣が付けられるというところが一つ大きな魅力のように思いましたので、私は東京書籍を選択させていただきました。</p>
<p>また、考えることの手掛かりとして、様々な工夫があるというところも甲乙つけがたいのですが、次のところにつながるようなものなのではないかと思います。</p>
<p>(植木委員) 私は啓林館の方がいいのではないかとこのように思います。その理由の1点目は、問題文のすぐ後に解答が示されて、その解答に至るまでの経緯が大変わかりやすい、そうすることが現場にいる先生方の指導方針に合っているのではないかと、2点目は、既習事項を活用しながら他の場面に取り組んでいけるとい、発展する中身につながっているのではないかとこのように、私は啓林館がいいのではないかと思います。</p>
<p>(齋藤委員) 私は候補に上がった教科書会社の中で、本当にどれも算数が楽しく学べる、算数嫌いが叫ばれている中で、子供たちが算数を嫌いにならないような工夫がどの教科書もとてもよくされているなと思ひまして、本当に選ぶのに悩みました。</p>
<p>その中で、先ほど佐藤委員がおっしゃったのですが、東京書籍が1年生用に分冊でA4判のノート機能を備えたテキストを準備しておられて、1年生の段階ですと、字を書く平仮名もまだ習わない段階ですよね。その段階でノートを書くということが非常に難しい中で、このようなA4判のノート機能を備えたテキストがあると、子供たちも楽しく、そのノートに埋める作業というのできるのではないかと。そして、幼</p>

稚園、保育園から小学校上がりたての子供たちが、自分が書いていくという過程の中でそのノートがどんどん埋まっていくのにとっても喜びを感じるのではないかと考えております。このノート機能を備えた分冊を苫小牧の子供たちに使わせてあげたいなと思いましたので、最終的に東京書籍にしました。

(岡田委員) 私も東京書籍を選びました。算数について関心や興味を持つということで、数と計算の意味を考える力が育てられるような点に着目したのですが、「学びのとびら」というところで、2学年から6学年まであるのですが、問題の解決についての過程を目で見える形に可視化していて、主体的な学習の工夫がなされているのではないかというふうに思いまして、東京書籍を選択いたしました。

(五十嵐教育長) ありがとうございます。私ですが、お二方が言っておられました、1年生でノート機能を持った分冊があるというところが、小学校で最初の算数を学ぶ時に学びやすいという点があるところを注視しまして、東京書籍とさせていただきます。

それで、植木委員が啓林館ということで、4対1という形になっておりますけれども、植木委員の方で更にご意見などあれば、いかがでしょう。

(植木委員) いえ、特にありません。冒頭でお話ししましたように、どの教科書も甲乙つけがたい訳ですので、全体の総意としては東京書籍ということは理解できますので、構いません。

(五十嵐教育長) それでは、東京書籍が多いということで、今植木委員も全体的なご意見をということでもありましたので、算数については、東京書籍ということで決定させていただいてよろしいですか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、小学校教科用図書の「算数」は、東京書籍に決定いたします。

<p>続きまして、小学校用教科用図書の「理科」の審議に入ります。</p>
<p>「理科」については、勉強会での意見交換の結果、東京書籍、日本図書、教育出版の3者が候補となっています。</p>
<p>これらにつきましても、この3者を中心に各委員からご意見をいただき決定したいと思しますので、ご意見をお願いいたします。</p>
<p>(佐藤委員) 教科書内で扱われている題材が、北海道のことですか、今注目されているようなものを取り扱っていて、興味を持てるようにしているというところで、これ非常に難しかったのですが、教えやすいという点もちろん大事なところですよ。その中で、学習の仕方がはっきりしている、例えば、東京書籍であれば、問題をつかむ、調べる、まとめるという、この3段階の学習であったり、それから教育出版であれば、実験結果と方法が同じようなところであって、わかりやすくなっていたりというところで、これも非常に難しいところなのですが、様々な題材のもの、また理科の中で使うような資料などを巻末でまとめていて、使う際の便宜が図られていて、教える側の立場からすると、東京書籍の方が、あまりお勉強が得意でない子も取り組めるような工夫があって、また、子供たちが楽しく取り組むことができるような工夫が多いように感じましたので、東京書籍を選ばせていただきました。</p>
<p>(植木委員) 私は東京書籍がいいのかなと思います。理由は、実際に現場で教える先生方のためということもあるのですが、理科嫌いの子供たちが多く中で見通しを持つ、そして、自分で実験をして、あるいは調べて解決する、振り返る、これはまさに主体的な学びということですので、これが理科に対する興味・関心につながっていくと思います。教える側の先生にしてみると、実験方法がわかりやすいというようなことにもなりますので、東京書籍がいいのかなと思います。</p>
<p>(齋藤委員) 理科に関しましては、どの出版社も大変素晴らしい教科書をつくっていて、私たちの方でも悩んだ教科の一つです。そのため、2者には絞れず、3者に絞るという形になっております。</p>
<p>私の中では、大日本書籍の教科書で、実験結果が実験方法と同じページではなく次</p>

のページに出ているというのが、とても魅力的だ、面白いなどは思いました。ただ、それだけに特化したら、本当に素晴らしいと思ったのですが、全体的なバランスを考えた時に、本当に難しかったのですが、東京書籍かなと思ひまして、東京書籍の方を選びました。

先ほど他の委員がおっしゃっていたような部分、最初に、今日勉強することは何なのかということが明確に示されていて、何をするのか、何を調べるのか、そして最終的に何がわかって学べるのかということが明確になっているかということと、他の教科書にも書いてはありますが、観察や実験器具の使い方や、理科を勉強する上での基礎的な、基本的なことがきちんと巻末にまとめられているということも選択させていただいた理由の一つです。以上から、私は東京書籍を最終的に選ばせていただきました。

(岡田委員) 私も東京書籍がよろしいのではないかと考えました。理科は、現象に対してどのような問題か疑問に思うことから始まって、それがどうしてそうなるのか調べて、自分なりに考えて、結論を見出していくというところで、科学的な理科の視点、考え方というのが身に付いていくと思いますが、そういった点が見られるのかなと感じましたので、東京書籍がよろしいかなというふうに思っております。

(五十嵐教育長) ありがとうございます。私も東京書籍を選ばせていただきます。これは皆さんが先ほど言うておられましたが、問題をつかむ、調べる、まとめるという3段階の学習の進め方、活用方法というのは、非常にその見通しを持ったり、理科を楽しんだり、主体的な学びにつながるということを感じましたので、東京書籍ということにしたいと思ひます。

それでは、皆さん一致して東京書籍ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、小学校教科用図書の「理科」は、東京書籍に決定いた

<p>します。</p>
<p>次に、小学校用教科用図書の「生活」の審議に入ります。</p>
<p>「生活」については、勉強会の結果、学校図書、新興出版社啓林館の2者が候補と なっています。この2者を中心に、各委員からご意見をいただいて決定したいと思 います。</p>
<p>(佐藤委員) どちらも、キャラクターやつぶやき、写真を効果的に使われているの ですが、勉強していくうちに、どんどん色々なことを覚えていくというような構成の ところを少し見させていただきまして、学校生活の場面というのが、イメージでこれ はわかるとか、私もできるかもとか、そのようなところにつながる点を注視いたしま して、私は啓林館を選択させていただきました。</p>
<p>(植木委員) 2者のうち、啓林館はその単元の最後に「ひろがるきもち」というふ うなことを掲載して、学習したことを日常生活につなげる工夫をしていることが大き な特色になっていまして、私はここが大変いいのかなと思います。そして、どの教科 書も写真を多用しており、子供たちには魅力的な教科書づくりをされていますが、特 に啓林館は、小学校での生活を具体的に示していたり、通学の安全等について保護者 の確認を促していたりというようなページもあって、そのところがいいのかなと思 いましたので、私も啓林館がいいのではないかなと思います。</p>
<p>(齋藤委員) 私も啓林館を最終的に選ばさせていただきました。どちらの教科書も、 子供たちが1年生の段階で学校生活を楽しく送ることができるように、導入の部分が スムーズにいくような工夫をされていたと思うのですが、最終的に啓林館を選ばせて いただいた理由が、具体的な学校生活の写真がたくさん掲載されていて、他の会社も そうなのですが、全体的なバランスを見た時に、より子供たちが学校生活のイメージ が付きやすいということと、低学年から中学年に上がる時に、生活科から次の学年に 上がる時の接続が上手くいくような工夫をされているかなと思ひまして、啓林館を選 ばさせていただきました。</p>
<p>(岡田委員) 私も啓林館を選びました。学校生活を写真で掲載して、イメージがし</p>

<p>やすいところがあるのかなという感じがいたしますので、啓林館でよろしいのではな</p>
<p>いかと思います。</p>
<p>(五十嵐教育長) ありがとうございます。私につきましても、皆さんが挙げられて</p>
<p>いる理由と同じですけれども、啓林館がいいというふうに思っております。</p>
<p>それでは、皆さん新興出版社啓林館ということですので、よろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(五十嵐教育長) それでは、小学校教科用図書の「生活」は、新興出版社啓林館に</p>
<p>決定いたします。</p>
<p>次に、小学校用教科用図書の「音楽」の審議に入ります。</p>
<p>「音楽」については、勉強会での意見交換の結果、教育出版の1者が候補となって</p>
<p>います。</p>
<p>この1者を中心に、各委員からご意見をいただき決定したいと思います。</p>
<p>(佐藤委員) 授業での音楽として、音楽を表す言葉の基礎的なことを教えやすく、</p>
<p>色々な資料を掲載されているということと、歌について、英語の歌ですとか、算数の</p>
<p>歌ですとか、その教科を横断して学ぶような授業づくりにも使いやすいというような</p>
<p>ところで、教えやすいという印象もありましたので、教育出版を選ばせていただきま</p>
<p>した。</p>
<p>(植木委員) 私も教育出版がいいのではないかとというふうに思いました。その理由</p>
<p>ですが、どのページにも学習の目当てというのが明快であって、教材の歌や学習活動</p>
<p>に則った解説があるので、子供たちが意欲的に学べるのではないかとということが一つ</p>
<p>と、それから巻末資料等の充実というようなこともありますし、「まなびナビ」とい</p>
<p>うようなことで、主体的に学習できるように工夫されていたので、教育出版がいいの</p>
<p>かなというふうに思います。</p>
<p>(齋藤委員) 私も教育出版がいいと思っております。理由は、先ほどの植木委員と</p>

同じ理由になりますが、付け加えさせていただくとすれば、学校現場の先生たちも、あえて今ここで出版社を変えなくても、変えない方がいいのではないか、今まで同じ教育出版を使って授業を進めておりましたので、今回の採択に当たって教科書を拝見しましても、大変良い教科書だと思いましたので、あえて変える必要はないのではないかと、教育出版を選びました。

(岡田委員) 私も委員の皆さんがお話ししたように、教育出版ということでよろしいのではないかと思います。

(五十嵐教育長) これにつきましても、私も教育出版がでというふうな考えです。それでは、皆さん教育出版ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、小学校教科用図書の「音楽」は、教育出版に決定いたします。

次に、小学校用教科用図書の「図画工作」の審議に入ります。

「図画工作」については、勉強会での意見交換の結果、開隆堂出版、日本文教出版の2者が候補となっています。

この2者を中心に、各委員からご意見をいただき決定したいと思います。

(佐藤委員) 両方とも教科横断的な観点でつくられておまして、特に日本文教出版は、道徳とのつながりもある印象を受けておりました。開隆堂も関連する教科を示しているところが魅力的でございましたが、生活や社会との関連というところを中心にとか、題材ごとにわかりやすくマークや言葉で何を使うのかというところが示されていて、どの学年もあまり詰め込んだような状態ではなかったというところも、一つ選択するときの着目点として選びまして、私は開隆堂を選択させていただきました。

(植木委員) さっきから言っていますが、本当にどの教科も甲乙つけがたくて、大

変迷う教科の一つでした。私は開隆堂がいいのではないかと思ったのですが、先ほど、佐藤委員もお話ししておりましたけれども、教科横断的な視点による授業づくりというようなことと、ちょっといいなと思ったのは、鑑賞作品が本格的なものだということと、どの学年もページ数が10ページほど少ないのです。ここに私はひかれました。以上です。

(齋藤委員) 繰り返しになりますが、図画工作も本当に迷いました。図画工作は勉強会の時点で1者に絞りたいところだったのですが、絞り切れず、両方とも残した形になりました。どちらも本当に甲乙つけがたく、違いもそれほど感じられない教科書だったなと思います。

私もいろいろ教科書を見た中で、開隆堂の教科書に掲載されている作品は結構インパクトがあるというか、本格的な、目をひく、すごいなと思えるような作品が何点か目につくことがありまして、そういう本格的な鑑賞作品を子供たちの目に触れさせてあげたいなと思いましたので、最終的に開隆堂を選びました。

(岡田委員) 私もどちらにするか難しかったのですが、皆さんがおっしゃったように、鑑賞作品が本格的なものが出ているというようなこともあって、開隆堂を選ばせていただきました。

(五十嵐教育長) ありがとうございます。私も開隆堂です。

それでは、皆さん開隆堂出版ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、小学校教科用図書の「図画工作」は、開隆堂出版に決定します。

次に、小学校用教科用図書の「家庭」の審議に入ります。

「家庭」については、勉強会での意見交換の結果、東京書籍の1者が候補となっています。

<p>この1者を中心に、各委員からご意見をいただき決定したいと思います。</p>
<p>(佐藤委員) 本当に色々な工夫をされていて、基礎、基本を確実に習得できるように写真なども非常に豊富で、その学習がまた生活に振り返るところも非常に良くお考えになってつくられているのですが、教える側も学ぶ側もいいのではないかと</p> <p>いうのは、二次元コードにアクセスして動画を見られるということで、写真や図解もたくさんあるのですが、実際に動画を見て覚えるという、そういうチャンスにつながる、実際に自分でやってみることができるということが非常に魅力的に感じましたので、東京書籍を選択させていただきました。</p>
<p>(植木委員) 東京書籍はワークシートを掲載して、それで学習活動を促す、そして意欲的な学習ができるように工夫されているということが特徴的でして、このところが非常に生活と密着するのが家庭科の学習ですので、とても大事なことなのかなというふうに思いました。</p> <p>それから、環境、日本の伝統、日々の備えなどにマークや「プロに聞く！」などというコラム欄が載って、子供たちに興味関心を持たせるところではないのかなと思いましたので、東京書籍ということで、私もいいのかなと思いました。</p>
<p>(齋藤委員) 私も勉強会の段階で東京書籍の教科書に魅力を感じました。先ほど佐藤委員がおっしゃったように、マークがあって、そこからインターネットに接続をして動画を見ることができるということに魅力を感じております。</p> <p>今回、教科書採択に当たって驚いたのが、いろいろな教科でバーコードが付いていて、そこにアクセスをして動画を見るという教科書が非常に増えていて、その動画が全ての教科に有効かどうかは、またちょっと難しい問題だなと。動画があると本当にすごいと思って、それにすぐ食いついてしまうのですが。</p> <p>また、家庭科においては、例えば調理実習などで先生1人がクラス全体に教える時に、この動画があった方が教えやすいのではないかと、先生が何か作業をしている時に、後ろの席の子が先生が何をやっているのか見えにくかったり、1回だけではちょっと理解できなかったり、先生の提示が1回だけではわかりにくい場合も、動画を見るこ</p>

とでその子が理解できるまで実習に取り組むことができるし、子供たちも今言われている作業をできるように、きちんと理解することができるのではないかと思います、このマークを採用された東京書籍の方を私は選びました。

(岡田委員) 私も、東京書籍を選びました。巻末資料で「いつも確かめよう」というところがあり、基礎的な知識や技能がまとめられておりまして、いつでも確認できるというところで、よろしいのではないかというふうに感じました。

(五十嵐教育長) 私も皆さんと同じ東京書籍です。

それでは、皆さん東京書籍ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、小学校教科用図書の「家庭」は、東京書籍に決定いたします。

次は、小学校用教科用図書の「保健」の審議に入ります。

「保健」については、勉強会での意見交換の結果、東京書籍、学研教育みらいの2者が候補となっています。

この2者を中心に、各委員からご意見をいただき決定したいと思います。

(佐藤委員) こちらも非常に内容が充実しておりまして、何を考えていくかというところで、体と心の成長というところ、小学校、中学校、また中学校への接続という観点でも大事なところなのではないかというのが考える根拠になりました。

それで、問題解決に結びつくための視点というところをキャラクターでわかりやすくするとか、相手のことを考えるような活動というものを位置付けさせるとか、そういう工夫を両方しているのですが、私は東京書籍を選択させていただきました。

(植木委員) これも本当に難しく、どの教科書にも良さがあって選択するのに苦労したのですが、その教科書の配列で活用する上で、子供たちにとってはワークシートが便利なのかなと思いました。また、中学校への接続も非常に有効なのかなと思

ましたので、東京書籍がいいのかなと思いました。

(齋藤委員) 私も東京書籍を選びました。先ほど植木委員がおっしゃったとおり、保健も本当に甲乙つけがたく、どちらの教科書も子供たちにぜひ使わせたいなという教科書で、違いを見つけることが難しいというか、欠点を見つけるのが難しく、どちらを選ぶか理由がなかなか見つけられず、悩んだところでした。あえて言うなら、先ほど植木委員もおっしゃったように、ワークシートが一体になったイメージで、現場で活用する上では便利なものではないかと思ひまして、東京書籍を選ばせていただきました。

(岡田委員) 私も東京書籍を選びました。ほかの委員の皆さんと同じ意見、根拠です。

(五十嵐教育長) 私についても、東京書籍を選ばせていただきました。皆さんが言われたように、ほとんど甲乙つけがたいのですが、ワークシートと一体となっているところが活用しやすい、便利なのではないかという意見であります。

それでは、皆さん東京書籍ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、小学校教科用図書の「保健」は、東京書籍に決定いたします。

次に、小学校用教科用図書の「英語」の審議に入ります。

「英語」については、勉強会での意見交換の結果、東京書籍、開隆堂出版の2者が候補となっています。

この2者を中心に、各委員からご意見をいただき決定したいと思います。

(佐藤委員) 非常に難しい選択なのですが、東京書籍の方は別冊のピクチャーディクショナリーが付いていて、小学校では何を習うのかということも一目瞭然ということで、これを覚えるのだという一つの目安になります。教える側としても構成するところ

ろに工夫がありますので、何を学んでどのようにしているのかというのが非常に教えやすくなっています。開隆堂の方は、教える側、先生側の立場に立ってつくられているものですから、英語があまりお得意ではない先生もその工夫をされて、45分の中で構成されているというところは非常に悩みどころで、内容からいきますと、やっぱり児童が対話を中心にして改めてチャレンジするという工夫なども、開隆堂の方も本当にされていて、自然に発話が期待できるという、そういったところで選択しなければなりません。小学生ですから、楽しく英語を話すという、学ぶ側と教える側の立場に考えて、学ぶ側として考えたら、ピクチャーディクショナリーがあって段階的に英語を話すような工夫をされているというところで、私は、教える側からすると開隆堂なんですが、小学校で英語を勉強するというので、東京書籍を選択させていただきました。

(植木委員) 私は先生側の立場に立って、開隆堂がいいのではないかなというふうに思います。やはり、今回の指導要領で子供たちが何を学ぶのかという中の一つに、英語教育が5・6年生に入ってきました。子供たちは年間でいうと70時間学んでいく訳ですけども、学びというのは子供だけでできる訳ではなくて、教師とともにというところが大事なところで、小学校の先生は全ての先生が英語に堪能なわけではありません。その中で、先生と子供たちのコミュニケーションがどう上手くいくのかというところは、やはり、先生の立場も考えなければならぬのかなというふうに思いました。

それと、なかなか中学校に行くということはないのですが、小学校のうちに英語が好きになるには、他教科との関連で色々なことを覚えていくというところも大事なことなのかなと思いますし、特に開隆堂は会話の扱いというところで上手く扱っているように私には思えましたので、開隆堂を選ばせていただきました。

(齋藤委員) 私も、本当にぎりぎりまで悩んでいました。最初に、東京書籍のピクチャーディクショナリーを見た時には、これは本当に素晴らしい、子供たちも喜んでやるだろうなと思って、東京書籍という思いも少しあったのですが、あくまでもピク

<p>チャーディクシヨナリーは教科書ではなくディクシヨナリーですので、教科書の内容</p>
<p>で見た時に開隆堂の方が中身が充実しているのではないかと。ピクチャーディクシヨ</p>
<p>ナリーは素晴らしくて、他市の採択を見ても東京書籍を選ばれている市町村が結構あ</p>
<p>るようで、評価に値する教科書だと思うのですが。実際に教科書を手にとって東京書</p>
<p>籍と見比べた時に、内容が濃過ぎて、これを全てこなすことができるのかなという心</p>
<p>配もあったのですが、このぐらいの内容のことを子供たちにやらせたいと思いました。</p>
<p>後は、次に何をやるべきか細かく提示されているので、英語が得意ではない先生方</p>
<p>も、この教科書に沿って指導していけば授業が上手く進むのではないかと。</p>
<p>開隆堂はピクチャーディクシヨナリーが付いていませんが、英語の専門の先生方や</p>
<p>講師の方がいらっしゃいますので、それに代わるものを工夫して、子供たちが英単語</p>
<p>を楽しく覚えられるような方法をちょっと工夫していただくというか、ボールをぼん</p>
<p>と先生方に投げるようで申し訳ないのですが、本当に悩んで、私も開隆堂の方を選ば</p>
<p>せていただきます。</p>
<p>(岡田委員) 私も難しかったのですが、東京書籍がいいのではないかというふうに</p>
<p>考えました。</p>
<p>小学校の最初の英語を学ぶ段階で、私たちの頃は英語をまず日本語に訳して日本語</p>
<p>から理解するという発想でしたが、今の子供たちはイメージして、ディクシヨナリー</p>
<p>も絵になっていて、それから直接理解するという教え方になっていて、とても勉強に</p>
<p>なりました。そういう意味でも、本当に甲乙つけがたいところはあったのですが、そ</p>
<p>のピクチャーディクシヨナリーというのは、今はそういう学び方なのだということ</p>
<p>を思いましたので、東京書籍がいいのではないかというふうに思いました。</p>
<p>(五十嵐教育長) 私ですけれども、私は東京書籍を選ばせていただきました。齋藤</p>
<p>委員がおっしゃっていた、ピクチャーディクシヨナリーに代わるものが開隆堂にもあ</p>
<p>るということですが、やはり使いやすさ、見やすさという部分では、今回から初めて</p>
<p>使う英語の教科書ということであれば、こちらの方が導入しやすい、子供たちにとっ</p>
<p>て学びやすいと。植木委員も話されているのですが、教える側の立場という観点もあ</p>

る中で、これくらいの内容充実というものもあろうかというご意見かも知れませんが、私としてはディクショナリーの使いやすさというところに重きを置いて、そちらを選ばせていただきました。

それでは、私を含め3人が東京書籍ということですがけれども、植木委員、齋藤委員の方から、更に他の意見を覆すようなご意見があればと思いますが、いかがですか。

(植木委員) いえ、特にないです。やはり、学びやすいか、あるいは教えやすいかというのは重要な観点ですので、それをどの立場で考えるかということで、最終的には子供たちがより良く英語の言葉を身に付けていく、理解するというのが大事ですので、色々な議論はありますけれど、多数決で決めるのが仕方のないことですので、東京書籍でいいのではないかというふうに思います。

(齋藤委員) 私も、この2者に絞ってきた段階で、どちらの教科書も苫小牧の子供たちにふさわしい教科書として絞っているつもりです。その中で、あえて1者ということで、どちらを選べばいいのかということの意見の違いですので、東京書籍が採択の対象になるということに対して反対の意見は全くありません。やはり、ピクチャーディクショナリーの素晴らしさも感じていますし、ピクチャーディクショナリーを与えたら子供たちが喜ぶ顔も目に浮かびますし、後はその教科書を使って授業の中で先生たちが授業研究をしていただいて、子供たちが楽しく英語を勉強できるように工夫していただけたらいいと思いますので、私も東京書籍でも構わないと思います。

(五十嵐教育長) それでは、英語については東京書籍に決定させていただいてよろしいですか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、小学校教科用図書の「英語」は、東京書籍に決定いたします。

続きまして、小学校用教科用図書の「道徳」の審議に入ります。

<p>「道徳」については、勉強会での意見交換の結果、東京書籍の1者が候補となっています。</p>
<p>この1者を中心に、各委員からご意見をいただき決定したいと思います。</p>
<p>(佐藤委員) 学びやすい点、それから教えやすいかという点でも、前回は採択をしております。あまり年数が経過してないということと、先生方が授業改善をしているところがございますので、私は東京書籍をこのままお使いいただいて、授業改善ももちろんそうなのですが、充実した授業をしていただきたいというふうに思いました。</p>
<p>(植木委員) 2年前、移行期間中の教科書採択で色々な議論をして東京書籍に決定しました。今、学校では、この東京書籍を使った指導計画を既に立てて、中身を素晴らしいものに変えていくこうと、子供たちが心を見つめる時間になっている、まさにその時ですので、東京書籍でいいのではないかと思います。</p>
<p>(齋藤委員) 私も同じ意見です。前回の採択からまだ年数も経っておりませんし、今の東京書籍の教科書を使って、先生たちの授業研究や授業改善などのご努力をされている最中で、この時期にあえて教科書を変える必要はないかと思いますので、引き続き東京書籍をお願いしたいと思います。</p>
<p>(岡田委員) 皆さんのお話のとおり、今、道徳科が始まって間もないという、試行錯誤している中で、一つ決まっている教科書が前回ありましたので、そのまま継続していくのがよろしいのではないかと思います。</p>
<p>(五十嵐教育長) 私についても皆さんと同じ意見で、前回採択から年数も経過してないという中では、同じものをとという意見であります。</p>
<p>それでは、皆さん東京書籍ということですので、よろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(五十嵐教育長) それでは、小学校教科用図書の「道徳」は、東京書籍に決定いたします。</p>

<p>続きまして、中学校用教科用図書及び特別支援学級教科用図書について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>(学校教育課長) それでは、令和2年度に使用する中学校用教科用図書についてでございますが、新学習指導要領の教育課程に基づく教科書は、2年後の令和3年度からの使用となります。改定前の学習指導要領による教科書使用は、令和2年度の1年間となります。勉強会でもご意見を伺ってきたところですが、文部科学省の通達の内容も踏まえ、現在使用している教科用図書で引き続き採択するのがよろしいかと考えておりますので、ご審議をお願いします。</p>
<p>なお、中学校用道徳については昨年度採択済みでありまして、こちらも他の教科同様、令和3年度からの新学習指導要領の教育課程が始まるまでの1年間のみ使用することとなりますので、現在使用している教科用図書の引き続きの採択がよろしいかと考えております。</p>
<p>また、令和2年度特別支援学級教科用図書につきましては、小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒が、当該学年用の文部科学省検定済教科書の使用が適当でない場合に教科書として使用するものでありまして、文部科学省検定済教科用図書の下学年用、文部科学省著作教科用図書及び一般図書がございますが、勉強会の中では、今回新たに追加になった一般図書の中で、1冊「よくみるよくきく よくする絵本 たべものとからだ」という図書に関して、内容の一部に現代の生活習慣と合わない部分があり、注意が必要ではないかとされるものがございました。</p>
<p>他の図書については特にご意見もなかったところでして、この後、この1冊についてご意見を頂戴する中で、この1冊を含めて全てを採択するか、若しくはこの1冊を除いてすべてを採択するか、ご審議いただきたいと思っております。</p>
<p>(五十嵐教育長) ただ今の説明についてご質問はございますか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>

(五十嵐教育長) これは、勉強会での議論や意見交換も踏まえてということでの説明だった訳ですが、各委員の方からこの場で特にご意見がないということであれば、今の事務局の原案により、中学校用の図書については現行どおりとし、特別支援学級については、「よくみるよくきく よくする絵本 たべものとかからだ」の1冊を除いて、他については全て採択するという事でよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) それでは、原案のとおり採択することといたします。

最後に事務局から連絡事項等がありましたら、お願いいたします。

(学校教育課長) 本日採択した教科書、採択理由等については、9月2日月曜日からホームページで公表いたします。なお、決定した教科書につきましては、教育・福祉センター及び中央図書館2階で閲覧可能となります。事務局からは以上でございます。

(五十嵐教育長) それでは、以上で議案第1号の審議を終了いたします。

第2号 令和元年度教育費補正予算について

(教育部次長) -令和元年度教育費補正予算について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)
(五十嵐教育長) それでは、議案第2号は原案どおり決定いたしました。
第3号 平成31年度全国学力・学習状況調査結果の考察の公表について
(教育部参事) -平成31年度全国学力・学習状況調査結果の考察の公表について
説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(植木委員) 一つよろしいでしょうか。今年度からA問題、B問題を分けてやらなくなつたということについて、文科省の方から特別な理由というのは示されているのでしょうか。その理由がもしあれば、教えてください。
(教育部参事) 正式な通知が手元にはないところでございますけれども、これまで、A問題が一般的にいうと基礎的な問題、B問題が活用というような話でありましたけれども、基礎と活用というのは、10年以上前から学習指導要領上でも、文科省は基礎と活用を一体的に習得していかなければならないということはずっと伝えておりましたので、これを具体的な形にしたのが、A問題とB問題が一体的になつたということだというふうに聞いております。
後、もう一点、A問題とB問題がありまして問題数が増えてくる中で、児童生徒の負担という部分も考慮したというふうに聞いております。
(植木委員) ありがとうございます。わかりました。
(五十嵐教育長) 他に何かございませんか。
(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(五十嵐教育長) それでは、議案第3号は原案どおり決定いたしました。
第4号 苫小牧市立啓北中学校山なみ分校の在り方について
(教育部長) -苫小牧市立啓北中学校山なみ分校の在り方について説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(一同「なし」の声)
(五十嵐教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(五十嵐教育長) それでは、議案第4号は原案どおり決定いたしました。
第5号 美術博物館協議会委員の委嘱について

<p>(五十嵐教育長) 次に、議案第5号「美術博物館協議会委員の委嘱について」を議題といたしますが、本件は人事案件でございますので、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、本会議の日程の最後に審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(五十嵐教育長) それでは、議案第5号は秘密会とし、本会議の日程の最後に審議することに決定いたしました。</p>
<p>6 協 議</p>
<p>(五十嵐教育長) 協議事項をお持ちの方はいらっしゃいますか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>7 その他</p>
<p>(1) 令和元年度 教育委員会点検・評価報告書について</p>
<p>(教育部次長) -令和元年度 教育委員会点検・評価報告書について説明-</p>
<p>(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。</p>
<p>(植木委員) 資料54ページの(2)「主要施策等の点検・評価について」の外部評価の中で、上から5番目の「違和感を覚えた」というのは、どういうことなのでしょう</p>

<p>ようか。「各項目での評価の区分については、大部分が評価Bで、評価Aは43施策中の9.3%に過ぎず」というところに違和感を覚えたのか、「評価Cと評価Dが1つだったこと」に違和感を覚えたのか、これはどちらなのでしょう。</p>
<p>(総務企画課長) この部分は、まだ確認できていない部分ではございますが、Bが多いという、そのバランスのお話をしているのだと思われまますので、後ほど、ご本人に確認をさせていただいて、そういった違和感を解消していきたいなと思います。</p>
<p>(植木委員) 評価Bが多いので何をやっているのだということなのか、それともC評価とD評価があるので何なんだということなのか、意図がちょっとわからないものですから。</p>
<p>(総務企画課長) その2つ下の項目に「無難な評価Bにせざるを得ない」というような記述もありまして、これも同じ方の意見になります。もう少しA評価なりC評価なりに評価がばらけるべきではないかという、その指標のあり方というようなところのお話をされているのだと思います。</p>
<p>(五十嵐教育長) ご意見いただいた方にその辺を確認の上、場合によっては、そのご本人の趣旨がこういうことだったということであれば、ここもわかりやすい表現に変えることで、了解を取って表現を変えた方がいいのかなと思いますが。</p>
<p>(佐藤委員) この意見では、「安易に」とか「無難な」とか、非常に曖昧な言い方になっています。評価項目の在り方を変えるとか、そのような具体的なことが出てきてということであればわかるのですが、ご本人の感覚だけで「安易」とか「無難」とか「違和感」とかというふうになると、非常に理解をしにくいところがあります。どこが安易でどこが無難かというところがあればわかりませんが、読んでいてもわからないところがあるので、伺っていただければ、どの程度のところから安易で、どこが無難だったと感じられたのかというのが説明できるようなものがあれば、もっと理解しやすいと思います。全く個人的な感覚で話されているのであれば、それはそれで結構なのですが、それを説明していただければよろしいかと思います。ですから、植木委員がおっしゃったような違和感とか、そういうものも、個人の感覚で話</p>

をされているのであれば、説明する部分を付け加えていただきたいと思います。

(植木委員) 事務局の方で私どもに説明していただいた時には、基準があつて、その基準を超えているからBです、もっと良い基準だとAですということがわかるので、この違和感は覚えません。ですから、その方がどのような感じで違和感と言っているのか、ちょっと不可解です。

(五十嵐教育長) 報告書の最終確定版というのは、9月の文教経済委員会に出す予定ですが、ここの意見のところの書きぶり、一言一句、文言、どのような表現をするかという確定も、全て9月議会の文教経済委員会に報告して、完成形を出すということですか。

(教育部次長) はい、所管の委員会には完成形として出すような形になります。

(五十嵐教育長) 作業的に大丈夫ですか。

(教育部次長) より具体的な表現に近づけるような形で、内容を確認したいと思います。

(五十嵐教育長) フィードバックの部分も情報をいただきながら、各委員にもこういうふうになりますという形で出せるようなやり方をしていただければと思います。

その他、委員の皆さんからご意見、ご質問などございませんか。

(佐藤委員) この内容について、追加してよろしいのであれば、54ページの上から8番目の「どの施策についても」のところもそうなのですが、「大人が良いものだと思って与えても、実際に関わる取り組む側が負担になる場合もあり得るのではないのでしょうか」とありますけど、これも具体的にどういうものなのかということですよ。

(植木委員) これは議会に出るものですよ。受け取る側は恐らく「何だこれは」となると思います。これだけ一生懸命やっているのに、そうなりかねません。

(佐藤委員) 具体的になっていけば聞いている方もわかるのですが、この書き方だと全部ということになります。言葉に固執しても仕方がないのですが、なかなか理解されにくい文章ではありますので、誤解をされないように。皆さん、方針ごとに良くまとめてくださっていますから、それを理解していただくためにも、どの施策もでは

なくて、具体的にどれですかというところがはっきりすれば、具体的に改善するなら改善するということにつながると思うので、ちょっと伺っていただければありがたいです。

(五十嵐教育長) 今のご指摘のことも含めて、委員からいただいた意見を改めて確認した上で、作業を進めて報告してもらいたいというふうに思います。

委員の皆さん、そういうことでよろしいですか。

(一同「はい」の声)

(五十嵐教育長) 他に何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(2) 第2学校給食共同調理場改築事業の進捗状況について

(教育部次長) -第2学校給食共同調理場改築事業の進捗状況について説明-

(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(3) 教育委員会職員の人事異動に係る協議について (報告)
(教育部長) -教育委員会職員の人事異動に係る協議について (報告) 説明-
(五十嵐教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(一同「なし」の声)
(五十嵐教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(五十嵐教育長) これより、先ほど秘密会と決定いたしました議案第5号の審議をいたします。関係者以外は退席をお願いいたします。
(五十嵐教育長) それでは、委員会を再開いたします。なお、議案第5号につきましては原案どおり決定となりました。

8 委員会閉会の宣言（五十嵐教育長）・・・17時13分